

2021年スタート—早いもので4期の3年目に入ります



風だより

県議会議員はくいし恵子の



発行者 島根県議会議員
はくいし 恵子
2021年1月20日発行
拡大版 VOL.29

(はくいし) 事務所

〒690-0882
松江市大輪町414-12
TEL・FAX
0852-23-0880

HPアドレス

http://
www.hakuishi.
sakura.ne.jp/
index.html

※是非、お立寄りください。

コロナ対応は早い支援で 島根の利点を生かし活路を

コロナに始まり、コロナに終わった2020年でした。

皆様、新しい年をどのようにお迎えでしょうか。例年とは違った静かなお正月ではなかったかと思えます。我が家も広島にいる長男夫婦や医療従事者の長女一家は帰って来ず、次女一家と迎える新年となりました。

12月に入ってから島根県でも連日感染者が報告されています。幸い軽症者が多く、全国では島根県のみ死者が出ていませんし、保健所や医療従事者の頑張りがあって市中感染にはなっていませんが、まだ収束には時間が掛かるでしょうから、しっかりと予防に努めてまいりましょう。

さて、そんな1年間でしたので、私も県政報告会ができません、皆様に議会活動をお知らせするのは「風だより」のみとなっていますこと、どうぞご了承ください。

島根県では2019年3月から11月議会にかけて、7回の補正予算と予備費を使い、コロナ対策を進めてきました。最初は困窮される事業者や個人の方のための無利子貸し付けや様々な施設等の感染予防対策、すこし落ち着いた頃のプレミアム宿泊券・食事券の発行、その後PCR検査体制の強化、医療提供体制の強化等に取り組んできました。まだまだ足りないところもあると思えますし、これからもっと必要な施策も出てくると思えます。

私達民主県民クラブとしては、様々な機会を作って学校や病院、ホテル・旅館、飲食業の皆様などに希望をお聞かせいただき、都度知事にお伝えしてきました。これからも状況に応じて出てくる様々な問題に向き合い、執行部とともに良い支援策を考えていきたいと思っています。

コロナ禍の中で、真っ先に生活に影響が出たのは、非正規で働くシングルマザーやアルバイトで生活する学生さんでした。コロナ禍も災害です。ですから「平時にできていないことは災害時にはもっとできない」という教訓がここでも露わになったと思います。平時から皆が余裕をもって生活できる社会を作っていかなければ、と心から思います。

一方でZoom等を使ったリモート会議も経験し、東京などに出かけなくても会議ができるという体験をしたことや人口密度が低い島根県では感染の危険性も低い、といったプラスの面もあり、それは今後にも生かしていかなければ、と思つております。

今年も頑張つてまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

はくいし恵子

県西部豪雨災害・バックウォーター対策が大きな課題

建設環境委員会 県内調査

10月28日、29日に常任委員会の県内調査を行いました。

今回調査にお邪魔した、江の川沿岸の災害現場は昨年度も調査に行っていました。

しかし3年間に2度の豪雨災害に見舞われるという

かつてない状況であり、再度しっかりと住民の皆様の意見、市町のご意見を伺って、県として何が

できるのか考えるべき

度お伺いさせていただきます。



早期の 集落移転実現を

テーマは「減災・防災の取り組みについて」とし、災害を受けられた美郷町、川本町、邑南町、江津市に伺いました。美郷町では、国が移転支援事業の対象家屋数を10戸以上から5戸以上にしたこと、集団移転を決定された港地区にも伺いました。

12世帯30人が暮らす港地区は江の川の支流、君谷川沿いにあり、江の川の水位が上がると、君谷川の水が江の川に流れ込めなくなる「バックウォーター現象」が発生して、たびたび浸水被害に悩まされてきました。

住民は浸水域に暮らす5戸分の署名を集め、集団移転の要望書を提出し、町は県や国土交通省との調整を進め、21年度に移転先などを含む事業計画を策定し、22年度に移転先の造成、23年度から移転を開始するというスケジュールを示しています。

移転先は地区内の高台を希望されていますが、造成に時間がかかったり、補助事業の制限があったり等難航も予想されます。住民代表の方の「地区内での移転を！」という強



ボートの配置や 排水ポンプの要望

江津市では、桜江町小田・今田地区にお邪魔しました。やはり前回も被災しておられ、避難訓練を定期的実施されていて、今回も自治会長が1件ずつ回るなど避難誘導にも力を入れておられる様子でした。

道路が冠水して孤立状態になるので、小田地区へのボートの配備をしてほしい、現在堤防のかさ上げ工事中だが来年の雨

季までには是非とも完成させてほしい、また堤防が完成すると内水の流れが変わると思うので、完成後の水の流れ方の情報が欲しい、地区内には定点カメラが設置されていない為水位を見に行かねばならず、危険。定点カメラを数か所に設置し、携帯で確認できるようにしてほしい、内水排除のためのポンプを設置して欲しい等切実な要望が出ていました。

自主防災組織の強化

各市町では、人的被害を出さないため自主防災組織の充実や防災士の育成、ハザードマップやマイトタイムライン作成の普及、避難訓練、避難予報、深夜に避難準備情報予想される場合明るいうちに発令し、住民に避難を促す・邑南町等のソフト対策、公的補助のない床下浸水住宅への「住宅小規模破損等支援金」の創設(江津市)、電動ポンプ車やレスキューボートの設置等の努力をされています。

築堤は下流から整備するのがセオリーだそうですが、江の川の場合は上流の広島側から整備が進み、上流で降った雨が全て下流に流れること、流速が早くなりバックウォーター現象が起りやすいこと等更に水害が起りやすい状況になったと考えられます。

広島側の堤防整備率69%、島根側15%という圧倒的な堤防整備率の差の解消が強く求められます。

はくいし恵子の県議会報告



11月県議会

一般質問から抜粋
(11/18~12/15)

9月県議会

一般質問から抜粋
(9/3~10/2)

イクボスを広げる

質問：知事の「イクボス宣言」について

【知事】我が国全般の傾向である家事負担が女性に大きく偏っている現状を変え、男女の公平な役割分担を当たり前とする職場風土づくりを進めることが重要。全庁挙げて取り組み、県内各地の企業・団体にも広げ、社会全体で結婚から子育て、介護を支えられるよう取り組んでいきたい。

【イクボス宣言】の部長、地方機関の長等の管理職への広がり現状と今後の取り組みを伺う。

【女性活躍推進統括監】副知事、教育長、各部長は4月に宣言。2月の研修受講者は7月以降に宣言。地方機関の管理職はコロナ禍のため研修延期。今後取り組みを進めていく。

【総務部長】特定事業主行動計画に基づき、取り組みは進んでいる。イクボスのガイドブック作成、メンター制度など。今後、子育て中の職員同士の意見交換会や育児取得した男性職員と知事との意見交換等を考えている。

【民間の取り組みを後押しする考えはあるか。】

【女活】今後ファザーリングジャパンから講師を迎え、セミナーを開催する。

ハラスメント防止へ

質問：ハラスメント対策について

【総務部長】さらなる周知及び相談する効果を理解してもらうため、リーフレットに対応事例などを記載する等イメージしやすい内容にするよう検討する。相談者にはその後の対応を丁寧に説明し、理解を得られるよう努めている。

【管理職の出席、育児、介護の理解と意識変革のための研修について伺う。】

【総務部長】まずは県の取り組みについて情報提供するように考えている。今後どう

【総務部長】「イクボス虎の巻」配布、全県での「イクボス研修」を実施予定。妊娠、育児、介護休暇の理解を促進している。チェックシート、ロールプレイを取り入れた研修の準備を進めている。研修でのスーパバイザーの活用も予定している。

【総務部長】まずは県の取り組みについて情報提供するように考えている。今後どう

ふるさと教育と学校図書館の充実を

質問：島根のレガシーを子ども達に伝えることは

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】全国的な課題であり、全国都道府県教育長協議会及び全国都道府県教育委員協議会において要望している。

【教育長】司書教諭との連携や調整の状況、さらなる工夫ができないかよく聞いてみたい。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

【教育長】「ふるさと教育」として取り上げる考えは。県内に多数存在する教育資源の情報を活用しやすいう整理し、提供していく。

パートナーシップの推進を

質問：パートナーシップ制度について

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

【教育長】今年度導入後1年となる茨城県を訪問、調査

要望事項

《部局横断》

部長に女性の登用を

来年度予算や政策についての知事要望を、今年も12月14日に行いました。知事を応援する立場になった民主県民クラブとして、要望項目は「これだけは必ず実現してほしい」というものに絞り込んで要望しています。今年より厳しく査定をしていきました。

には広報部長、会計管理者の2人の女性部長が誕生しましたが、丸山知事になって広報部は廃止され、女性部長は「ゼロ」になってしまいました。昨年度の6月議会でも知事に正しましたが、「その次のポストには女性が多いので、いずれ部長に女性を配置される」というもので、クォーター制やポジティブアクションという考え方は遠いものでした。

また企業が積極的に女性を意思決定機関に着けようと努力している30%クラブについて紹介し、島根県の「島根県男女共同参画計画」の数値目標を高く設定を、と訴えましたが、聞き入れてもらえませんでした。議員になって14年、ずっと取り組んできた意思決定機関にもっと女性を増やしたい、という願いは未だに実を結んでいません。日本全体もですが、特に島根県は遅れているのではないのでしょうか。是非丸山知事の理解を求めたいと思います。

医療・介護の担い手の確保が困難な理由の一つに、所得の低さなど処遇に問題がある。報酬引き上げについて、国へさらに要望強化するとともに、独自の人材確保策に取り組み市町村に対し、県も積極的に支援すること。中学までの義務教育修了者においても、不登校や、外国人ということでも日本語が十分に理解できないことなどで、義務教育の履修が十分でなかった人たちの学びなおしの場として、夜間中学校を市町村と協力して設置すること。

毎議会、様々なテーマで勉強会を開催しています。11月議会は県立松江北高校の常松校長先生をお招きしました。きっかけはフェイスブックで、海士町にある隠岐島前高校に理科の1年生が研修に行った、という記事を見て、どのような教育効果を狙ったのかといったところでした。また、今年度の高校入試から松江市の校区制が廃止されますが、北高としてはどんな特徴を出していこうとされているのかも知りたいところです。島前高校での研修は、現在の北高には島前高校勤務経験者が6名いて、その先生たちからの提案だったそうです。狙いとしては離島という不利な条件の中で創意工夫をして先進的な取り組みを行っている海士町の事業者さんや島前高校の教育にじかに触れることで、島根だからできない、ではなく、島根だからこそできることがあることを学ばせたい、また医師希望者が多いので、島前病院の地域医療に触れ、その実態や意義を学んでほしいと考えたそうです。島前高校生のコミュニケーション力の高さや地域のことをよく考えていることなど、とても刺激になったというところで、島前高校生も勉強への取り組み姿勢などに刺激をもらったというので、お互いに無理がないので、今まではなかったことだが他高でもやれるし、オンラインでつないで一緒に勉強するというのも可能だ、ということでしたので、お互いに無理が

予算は県教委から出ているので、今まではなかったことだが他高でもやれるし、オンラインでつないで一緒に勉強するというのも可能だ、ということでしたので、お互いに無理が

当課として、積極的に防



民主県民クラブ

二〇二一年度政策・予算要望

要望にあたって

来年度予算や政策についての知事要望を、今年も12月14日に行いました。知事を応援する立場になった民主県民クラブとして、要望項目は「これだけは必ず実現してほしい」というものに絞り込んで要望しています。今年より厳しく査定をしていきました。

には広報部長、会計管理者の2人の女性部長が誕生しましたが、丸山知事になって広報部は廃止され、女性部長は「ゼロ」になってしまいました。昨年度の6月議会でも知事に正しましたが、「その次のポストには女性が多いので、いずれ部長に女性を配置される」というもので、クォーター制やポジティブアクションという考え方は遠いものでした。

また企業が積極的に女性を意思決定機関に着けようと努力している30%クラブについて紹介し、島根県の「島根県男女共同参画計画」の数値目標を高く設定を、と訴えましたが、聞き入れてもらえませんでした。議員になって14年、ずっと取り組んできた意思決定機関にもっと女性を増やしたい、という願いは未だに実を結んでいません。日本全体もですが、特に島根県は遅れているのではないのでしょうか。是非丸山知事の理解を求めたいと思います。

医療・介護の担い手の確保が困難な理由の一つに、所得の低さなど処遇に問題がある。報酬引き上げについて、国へさらに要望強化するとともに、独自の人材確保策に取り組み市町村に対し、県も積極的に支援すること。中学までの義務教育修了者においても、不登校や、外国人ということでも日本語が十分に理解できないことなどで、義務教育の履修が十分でなかった人たちの学びなおしの場として、夜間中学校を市町村と協力して設置すること。

毎議会、様々なテーマで勉強会を開催しています。11月議会は県立松江北高校の常松校長先生をお招きしました。きっかけはフェイスブックで、海士町にある隠岐島前高校に理科の1年生が研修に行った、という記事を見て、どのような教育効果を狙ったのかといったところでした。また、今年度の高校入試から松江市の校区制が廃止されますが、北高としてはどんな特徴を出していこうとされているのかも知りたいところです。島前高校での研修は、現在の北高には島前高校勤務経験者が6名いて、その先生たちからの提案だったそうです。狙いとしては離島という不利な条件の中で創意工夫をして先進的な取り組みを行っている海士町の事業者さんや島前高校の教育にじかに触れることで、島根だからできない、ではなく、島根だからこそできることがあることを学ばせたい、また医師希望者が多いので、島前病院の地域医療に触れ、その実態や意義を学んでほしいと考えたそうです。島前高校生のコミュニケーション力の高さや地域のことをよく考えていることなど、とても刺激になったというところで、島前高校生も勉強への取り組み姿勢などに刺激をもらったというので、お互いに無理がないので、今まではなかったことだが他高でもやれるし、オンラインでつないで一緒に勉強するというのも可能だ、ということでしたので、お互いに無理が

予算は県教委から出ているので、今まではなかったことだが他高でもやれるし、オンラインでつないで一緒に勉強するというのも可能だ、ということでしたので、お互いに無理が

当課として、積極的に防

啓発に努めること。

《総務・防災》

防災士の増員を

(1) 男女共同参画、防災、人権、環境等、部局縦割りで行われている行政課題の多くは複数の部局が横断的に取り組むべきものが少なくない。知事は、県トップとして、各部の連携した取り組みを意識して進めること。

(1) 地域の自主防災機能を高めるために防災士の養成は急務であり、島根県としても防災士の増員に向けて資格取得費用の助成などバックアップを行うこと。また、防災士の活用が不十分であることから、防災部が中心となり関係部局や市町村と連携し、具体的な活用策の検討を行うこと。

(1) 現在取り組んでいる大規模農家や中核的担い手の支援だけではなく、小規模農家や兼業農家が使いやすい小さなニーズに応えるような農業施策にも取り組むこと。

(2) 県西部に相次いで計画されている風力発電設備について、生物多様性や自然環境の保護、住民の健康被害等の観点から、国に対し再生可能エネルギー施設設置による開発を規制するための法令整備を求めると。

(2) 県西部に相次いで計画されている風力発電設備について、生物多様性や自然環境の保護、住民の健康被害等の観点から、国に対し再生可能エネルギー施設設置による開発を規制するための法令整備を求めると。

人権同和対策課の所管

啓発に努めること。

《文教厚生》

医療・介護の処遇改善

会派勉強会

島前高校に学ぶ松江北高

島根だからできる知識と知性



島前高校での研修は、現在の北高には島前高校勤務経験者が6名いて、その先生たちからの提案だったそうです。狙いとしては離島という不利な条件の中で創意工夫をして先進的な取り組みを行っている海士町の事業者さんや島前高校の教育にじかに触れることで、島根だからできない、ではなく、島根だからこそできることがあることを学ばせたい、また医師希望者が多いので、島前病院の地域医療に触れ、その実態や意義を学んでほしいと考えたそうです。島前高校生のコミュニケーション力の高さや地域のことをよく考えていることなど、とても刺激になったというところで、島前高校生も勉強への取り組み姿勢などに刺激をもらったというので、お互いに無理がないので、今まではなかったことだが他高でもやれるし、オンラインでつないで一緒に勉強するというのも可能だ、ということでしたので、お互いに無理が

予算は県教委から出ているので、今まではなかったことだが他高でもやれるし、オンラインでつないで一緒に勉強するというのも可能だ、ということでしたので、お互いに無理が

当課として、積極的に防

啓発に努めること。

予算は県教委から出ているので、今まではなかったことだが他高でもやれるし、オンラインでつないで一緒に勉強するというのも可能だ、ということでしたので、お互いに無理が

当課として、積極的に防

啓発に努めること。

予算は県教委から出ているので、今まではなかったことだが他高でもやれるし、オンラインでつないで一緒に勉強するというのも可能だ、ということでしたので、お互いに無理が

当課として、積極的に防

啓発に努めること。

立憲民主党女性議員ネットワーク

リモートで結成総会を開催

司会の大役を努めました

2020年も押し詰まった12月25日、クリスマス

マスの日に立憲民主党の女性議員ネットワークが結成されました。



2017年9月、突然「民進党が希望の党と合流する」というニュースに驚いてから今日まで、私たちが所属していた党は様々な紆余曲折を繰り返してきました。島根県の自治労組織内議員は、立憲民主党に所属する

ことになりましたが、同一党派の中は立憲民主党、国民民主党、無所属と別れてしまいました。もちろん地方議会では、所属する党が違っても会派を割ることなく今まで通り一緒に活動をしています。

消される女性の声

そんな中、民主時代結成され20年近く続いていた「女性議員ネットワーク会議」は国民民主党に引き継がれました。是非立憲民主党でも新しく立ち上げたいと思っていました。自治体の女性議員は国会よりも



もつと人数が少なく、女性議員は1人きりという議会もたくさんあります。少なくとも30%以上いと言われるのに、たった1人や2人では、声を形にするどころかヤジを浴びたり、セクハラ被害を受けたり、いじめにあつ

たりと文字通り孤軍奮闘している議員も少なくありません。(幸い島根県議会ではそのようなことはありません)ですから横につながって「1人じゃない」と勇気をもろう場が是非とも必要です。

2020年2月ごろから、全国の仲間と準備をし、やっと8月末に「立憲民主党自治体女性議員ネットワーク」を立ち上げたのですが、なんとその直後またしても党が解散し、国民民主党の一部と合流しました。

人数が増えることは嬉しいのですが、また一からやり直しとなり、9月に両党の役員で話し合いを持ち、後はラインやメールでやり取りしながらやっと「立憲民主党女性

ジェンダー平等

基調講演でジェンダー平等が進まなかった要因として挙げられた、それを良しとしない大きな政治勢力があることやジェンダーバックラッシュによる大きな後退は肌身に染みて感じています。進めていくためにやるべきことは、性差別による影響を誰がどのように被っているのかを「見え

多くの人が参加できることですが、全体司会を務めた私としては、質問者を把握できなかったり、賛成の拍手が聞こえないなど、いまいち手ごたえが掴めないことが不安でしたが、無事結成総会を終えることができました。

「化」すること、男女共同参画統計を徹底すること、データに基づく政策提言をすること、が挙げられました。どれも難しいことです。様々な講演を聞く中で「データに基づく問題の分析と提言」は共通して話されることです。今後質問や提言をするとき

竣工式ラッシュュー!



ラッシュューではないのかもしれませんが、初めて建設環境委員会に所属した委員長の任命なので、10月6日は「浜

田川総合開発事業竣工式」12月6日は主要地方道桜江金城線開通と続けて竣工式に出席しました。

どちらも西部地域で土地動がなく、たどり着くのにドキドキでしたが、山陰自動車道もところどころミッシングリンクがありながら、だいぶ繋がってきたので思ったより早く現地に到着しました。

でも少し奥に入ると、まだまだ落石の恐れがあるところや防護柵の工事のところがあり、生活道路に関しては早く安心して通れるように県も頑張らねばと思います。お金と時間はかかりますが、事故が起きて人命が失われてはなりませんから。

世の中には様々な「性のかたち」があります。セクシャルマイノリティといわれる、多数の人の「性の認識」とは違う、例えば生まれ持った体の性と自分が認識する性が一致しなかったり、同性を好きになったりといった方々が一定数おられます。

最近ではLGBTであるいはLGBTQと表現されますが、人間を含めた動物は、必ずしも男と女、雄と雌に二分されるものではなく、あいまいな部分もあると聞きます。

ですが数が少ないせいもあって、LGBTの方々は生きづらさを感じておられることが多いです。し、周りに理解されず悩まれていることも多いと思えます。その一つに、戸籍上の同性同士の結婚

が認められず、生活上の様々な不便があるということがあります。20年以上前にカナダに行った際に、街中の店の前にレインボーカラーの旗がひらめいており、それは同性カップルを歓迎するということを示すのだと聞きました。その後2005年にカナダで同性同士の結婚が国で認められ、その後海外では同性同士の結婚を認める国が増えてきています。

しかし、日本ではまだ議論が進んでいないため、それに代わるものとして自治体が独自に取り組みを始めているのが「パートナーシップ制度」です。2015年に東京渋谷区、世田谷区で始まった制度で、急速に全国に広がり、現在では全国67自治体で導入さ

パートナーシップ制度ご存知ですか

一方、渋谷区では「渋谷区男女平等及び多様性

具体的には世田谷区では「パートナーシップ宣言要綱」により、本人確認の書類、婚姻していないことの確認資料を提出し、宣誓書に署名捺印し提出します。区からは「宣誓書の写し」と「宣誓書受領書」が交付されます。

また中野区ではどちらかを選べる制度になっていますが、全国的には費用がかからず、自治体に取り入れやすい世田谷方式です。

条例が、要綱によるのかで、得られる権利や利益は違いますし、自治体によっても違いがあります。渋谷区の制度では、公正証書により結婚に相当するパートナーとして

いるので、住居の賃貸契約時や病院の面会時に最

を尊重する社会を推進する条例」を制定し、双方が任意後見人受任者であること、両者が愛情に基づき、共同生活に責任を持つこと、生活費用分担の責任を持つことという結婚と同様の合意契約を記載した公正証書を提出し、証明書を交付します。

一方、世田谷方式では、病院の面会や公営住宅の入居が可能になるところもありますが、各自治体によつて様々です。

どちらにしても、何よりも大きいのはパートナーシップ制度によつて今まで認められなかった関係が公式に認められ、社会の意識を変えることにつながることが最大のメリットだと考えます。

またこの取り組みが全国に広がっていけば、国を動かす力にもなります

し、今のところ都道府県での導入は2府県ですが、多くの都道府県が導入すれば、都道府県が行う各種試験、手続き等の性別欄の廃止や高校の制服の選択制などの動きの後押しにもなります。

男性、女性という2項しか認めない社会では、性別役割意識や女性蔑視等が起りやすく、そういう意味で私の生涯の課題でもあるジェンダー平等の取り組みも重なり

多様性を大事にし、誰もが人生を豊かに生きることができるよう、そして1人も取り残さない社会を目指す取り組みのひとつとして、島根県でもパートナーシップ制度を真剣に考えてほしいと思っています。

の目標にしていかなければなりません。ジェンダー平等の目指す社会は「性別による差別がない社会、性別に関わらず多様な生き方が尊重される社会であり、SDGsの目指す社会でもあります。更に性別に捕らわれない多様な社会を目指すことはLGBTQの人々とも手を取り合つて進んでいける道なのだと思います。様々な課題や解決すべき困難な問題を乗り越え、理解者を増やし、優先順位の高い政策課題にしていくよう女性議員ネットワークの仲間とともに頑張っていきます。